

07.05.03

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

10/509063

24 SEP 2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 3月25日

REC'D 27 JUN 2003

出願番号

Application Number:

特願2002-084206

[ST.10/C]:

[JP2002-084206]

出願人

Applicant(s):

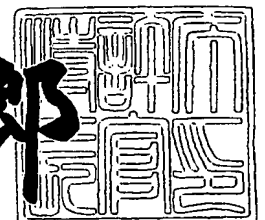
東陶機器株式会社
大阪金具株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 6月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2003-3043903

【書類名】 特許願
 【整理番号】 K1020395
 【提出日】 平成14年 3月25日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【発明者】

【住所又は居所】 福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

【氏名】 竹尾 穂積

【発明者】

【住所又は居所】 福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

【氏名】 久保田 健一

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市淀川区三津屋北1丁目4番10号 大阪金具株式会社内

【氏名】 南 参郎

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市淀川区三津屋北1丁目4番10号 大阪金具株式会社内

【氏名】 南 卓司

【特許出願人】

【識別番号】 000010087

【氏名又は名称】 東陶機器株式会社

【代表者】 重渕 雅敏

【特許出願人】

【識別番号】 000205476

【氏名又は名称】 大阪金具株式会社

【代表者】 南 参郎

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 017640

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 化粧鏡ユニット

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 主鏡と該主鏡の両側に配設され、フレームと、丁番とによって左右どちら側からも開閉可能となるように取付けられた左右の袖鏡とを備えた化粧鏡ユニットにおいて、左右の袖鏡を開いた状態で各袖鏡がそれぞれ化粧鏡ユニットの前方中央部に位置するように構成したことを特徴とする化粧鏡ユニット。

【請求項 2】 前記袖鏡の主鏡側端部にマグネット、面状ファスナーまたはフックなどの簡易連結装置を前記袖鏡の端面に配置し、左右の袖鏡が主鏡側へ回動してきたときに中央で左右の袖鏡を連結可能としたことを特徴とする請求項 1 記載の化粧鏡ユニット。

【請求項 3】 前記左右の袖鏡の裏面に薄型の小物収納部を備えたことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の化粧鏡ユニット。

【請求項 4】 前記フレームを化粧鏡ユニット本体に回動自在に支える本体側丁番の軸位置が、フレームの前方に固定される袖鏡の鏡前面位置よりも前方にあることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項に記載の化粧鏡ユニット。

【請求項 5】 前記フレームと前記袖鏡とを固定する袖鏡側丁番の一方の台座を、前記フレームの裏側に固定するとともに、該袖鏡側丁番の他方の台座を前記袖鏡の裏側に固定したことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項に記載の化粧鏡ユニット。

【請求項 6】 前記フレームと前記袖鏡とを固定する袖鏡側丁番の一方の台座を、前記フレームと一体に形成するとともに、前記フレームと前記化粧鏡ユニット本体とを固定する本体側丁番の一方の台座を、前記フレームと一体に形成したことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載の化粧鏡ユニット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、洗面化粧台の上部に配設される化粧鏡ユニットに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の化粧鏡ユニットは、袖鏡が主鏡側を軸心として手前に回転する構造の二面鏡（特開昭57-125705）がある。また、主鏡と主鏡の左右に隣接する袖鏡が前方に開いたときに、主鏡側とは逆の方向へ回転する構造の三面鏡（実公昭54-36548）がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

前記特開昭57-125705に記載の化粧鏡ユニットでは、2面鏡であるため、左右両側の姿を確認する場合に、片側を確認後その都度使用者が反対側を写せる位置まで移動する必要があったため、不便を感じる時がある。

また、前記実公昭54-36548に記載された化粧鏡ユニットは、主鏡の両側に隣接する袖鏡が主鏡から離れる方向へ開くため、使用者が鏡に顔を近づけて見たい場合、左右どちらかの袖鏡に体を移動させる必要があり、使い勝手の面で不便な場合があった。

そこで本発明は、上記の問題点を解決するために、左右の袖鏡を前方へ開いた状態で袖鏡が化粧鏡ユニットの前方中央部に位置するように構成し、洗面化粧台の中央部で鏡を広く使用することができる化粧鏡ユニットを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の発明は、主鏡と該主鏡の両側に配設され、フレームと、丁番とによって左右どちら側からも開閉可能となるように取付けられた左右の袖鏡とを備えた化粧鏡ユニットにおいて、左右の袖鏡を開いた状態で各袖鏡がそれぞれ化粧鏡ユニットの前方中央部に位置するように構成したことを特徴とする。

【0005】

本発明によれば、左右の袖鏡を開いた状態で各袖鏡がそれぞれ化粧鏡ユニット

の前方中央部に位置するように構成したことにより、例えば髪型と衣装を合わせるなど、比較的広範囲を写したい場合でかつ髪型の細かなところまで確認したい場合など、片側の袖鏡だけでは横幅が十分でない場合にも対応でき、使い勝手が向上する。

【0006】

請求項2記載の発明は、請求項1記載の化粧鏡ユニットにおいて、前記袖鏡の主鏡側端部にマグネット、面状ファスナーまたはフックなどの簡易連結装置を前記袖鏡の端面に配置し、左右の袖鏡が主鏡側へ回動してきたときに中央で左右の袖鏡を連結可能としたことを特徴とする。

【0007】

本発明によれば、前記袖鏡の主鏡側端部にマグネット、面状ファスナーまたはフックなどの簡易連結装置を前記袖鏡の端面に配置し、左右の袖鏡が主鏡側へ回動してきたときに中央で左右の袖鏡を連結可能としたことにより、両側の袖鏡を中央で簡便に面一に連結させることで使い勝手が向上する。

【0008】

請求項3記載の発明は、請求項1または請求項2記載の化粧鏡ユニットにおいて、前記左右の袖鏡の裏面に薄型の小物収納部を備えたことを特徴とする。

【0009】

本発明によれば、前記左右の袖鏡の裏面に薄型の小物収納部を備えたことにより、化粧鏡ユニット本体の収納部では賄いきれない小物、長尺物を見映え良く収納することが可能となるとともに、袖鏡を内開きとして使った場合には小物収納部が使用者側へ向かって開くので使い勝手に優れている。

さらに、袖鏡を手前に開いた状態では小物収納部が手前に出てくるため、極めて使い勝手がよい。

【0010】

請求項4記載の発明は、請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の化粧鏡ユニットにおいて、前記フレームを化粧鏡ユニット本体に回動自在に支える本体側丁番の軸位置が、フレームの前方に固定される袖鏡の鏡前面位置よりも前方にあることを特徴とする。

【0 0 1 1】

本発明によれば、前記フレームを化粧鏡ユニット本体に回動自在に支える本体側丁番の軸位置が、フレームの前方に固定される袖鏡の鏡前面位置よりも前方にあることにより、袖鏡を開いた場合にも袖鏡の主鏡側端面が、主鏡端面と干渉することなく、袖鏡と主鏡を同一面となる構造の三面鏡を提供することができる。

【0 0 1 2】

請求項5記載の発明は、請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載の化粧鏡ユニットにおいて、前記フレームと前記袖鏡とを固定する袖鏡側丁番の一方の台座を、前記フレームの裏側に固定するとともに、該袖鏡側丁番の他方の台座を前記袖鏡の裏側に固定したことを特徴とする。

【0 0 1 3】

本発明によれば、前記フレームと前記袖鏡とを固定する袖鏡側丁番の一方の台座を、前記フレームの裏側に固定するとともに、該袖鏡側丁番の他方の台座を前記袖鏡の裏側に固定したことにより、袖鏡を開いた場合でも、丁番の台座が見えないため、見映えが良い構造のフレームを提供することができる。

【0 0 1 4】

請求項6記載の発明は、請求項1乃至請求項5のいずれか一項に記載の化粧鏡ユニットにおいて、前記フレームと前記袖鏡とを固定する袖鏡側丁番の一方の台座を、前記フレームと一体に形成するとともに、前記フレームと前記化粧鏡ユニット本体とを固定する本体側丁番の一方の台座を、前記フレームと一体に形成したことを特徴とする。

【0 0 1 5】

本発明によれば、前記フレームと前記袖鏡とを固定する袖鏡側丁番の一方の台座を、前記フレームと一体に形成するとともに、前記フレームと前記化粧鏡ユニット本体とを固定する本体側丁番の一方の台座を、前記フレームと一体に形成したことにより、部品点数が少なくて済むため、コストダウンと見映えの面で優れた構造のフレームを提供することができる。

【0 0 1 6】

【発明の実施の形態】

以下に図面を参照して本発明をより具体的に説明する。

図 1 は、化粧鏡ユニットの全体を示す図であり、図 2 は化粧鏡ユニットの化粧鏡を開いた状態を示す図である。

化粧鏡ユニット 1 は、洗面台 2 の上側に配設させるようになっており、樹脂一体成形のキャビネット本体 3 を備えている。

キャビネット本体 3 の内部には収納部 4 が形成されている。

また、キャビネット本体 3 の上端には照明 6 が配設されている。

キャビネット本体 3 の内部に形成された収納部 4 は、縦割り分割された収納凹部 7、7 を備えており、該収納凹部 7 には、取り外し可能な棚トレイ 8 が複数段設けられている。前記収納凹部 7 の前面には、収納凹部 7 の外周に沿った形状のフレーム 9 が配設されており、該フレーム 9 前面には袖鏡 1 0 によって収納凹部 7 が覆われている。

また、袖鏡 1 0 の裏面には小物収納部 2 0 が配設され、該小物収納部 2 0 には、棚板 2 1 が一体に取り付けられており、各棚板 2 1 より若干上方位置には収納品落下防止バー 2 2 が取り付けられている。

【 0 0 1 7 】

図 3 は、フレームと化粧鏡の詳細構造を示す図である。

袖鏡 1 0 とフレーム 9 とは、丁番 3 0 により回動自在に固定され、該フレーム 9 のもう一方の端部には丁番 3 1 により収納部 4 と回動自在に固定される。

【 0 0 1 8 】

図 4 はフレームと化粧鏡の動きを示す図である。

まず、収納部 4 から収納物を取り出す際には、図 4 (b) に示すように、丁番 3 0 を回転軸として袖鏡 1 0 を内開きに使用すれば、化粧鏡ユニット 1 の中央に立ったままでも容易に収納物を取り出すことが可能である。

次に合わせ鏡として使用する場合には、図 4 (c) に示すように、前記丁番 3 0 とは反対側端部に取り付けられる丁番 3 1 を回転軸として、袖鏡 1 0 を外開きに使用すれば、合わせ鏡とすることが可能である。

このとき、丁番 3 1 の回転軸 3 2 を袖鏡 1 0 の手前前方に位置させることにより、袖鏡 1 0 の主鏡 1 1 側の端面の回転軌跡が閉じた状態における袖鏡 1 0 の主

鏡側 11 端面よりも主鏡 11 側に出ることがない。従って袖鏡 10 と主鏡 11 との間に隙間や段差を設けることなく、袖鏡 10 を配設することができる。これにより、見映えと使い勝手のよい化粧鏡の構造を得ることが可能である。

【0019】

図 5 は、左右の袖鏡を中央にて接続した状態を示す図である。

袖鏡 10 は、上下両端に化粧縁 50、50 が取り付けられ、該化粧縁 50 の主鏡 11 側端部にはマグネット 51 とマグネット受座 52 が埋め込まれた構造となっている。

左右の袖鏡 10、10 を開き、化粧鏡ユニットの前方中央部に位置させた状態で、それぞれの主鏡 11 側端部を隣接させた際に、前記マグネット 51 とマグネット受座 52 が連結されることにより、両側の袖鏡を中央で簡便に面一に連結させることで使い勝手が向上する。

【0020】

図 6 は、丁番とフレームを一体に形成した状態を示す図である。

収納部 4 と袖鏡 10 はそれぞれフレーム 9 の両端に一体成形されている丁番 33、丁番 34 により回動自在に固定されている。

前記フレーム 9 の両端には、丁番 33 及び丁番 34 の台座部分が一体成形されているため、袖鏡 10 を開いたときの見映えを向上させるとともに、部品点数を削減することでコストダウンが可能である。

【0021】

【発明の効果】

本発明によれば、左右の袖鏡を前方へ開いた状態で袖鏡が化粧鏡ユニットの前方中央部に位置するように構成し、洗面化粧台の中央部で鏡を広く使用することができる化粧鏡ユニットを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本件発明の実施の形態である外觀斜視図を示す。

【図 2】

図 2 は、本件発明における実施の形態である化粧鏡ユニットの外觀図を示す。

【図 3】

図 3 は、本発明における実施の形態である丁番部の詳細図を示す。

【図 4】

図 4 は、本発明における実施の形態で、化粧鏡の動きを示す。

【図 5】

図 5 は、本発明における第 2 の実施形態である化粧鏡の詳細図を示す。

【図 6】

図 6 は、本発明における第 6 の実施形態である化粧鏡の詳細図を示す。

【符号の説明】

3 : キャビネット本体

9 : フレーム

10 : 袖鏡

30 : 丁番

31 : 丁番

32 : 回転軸

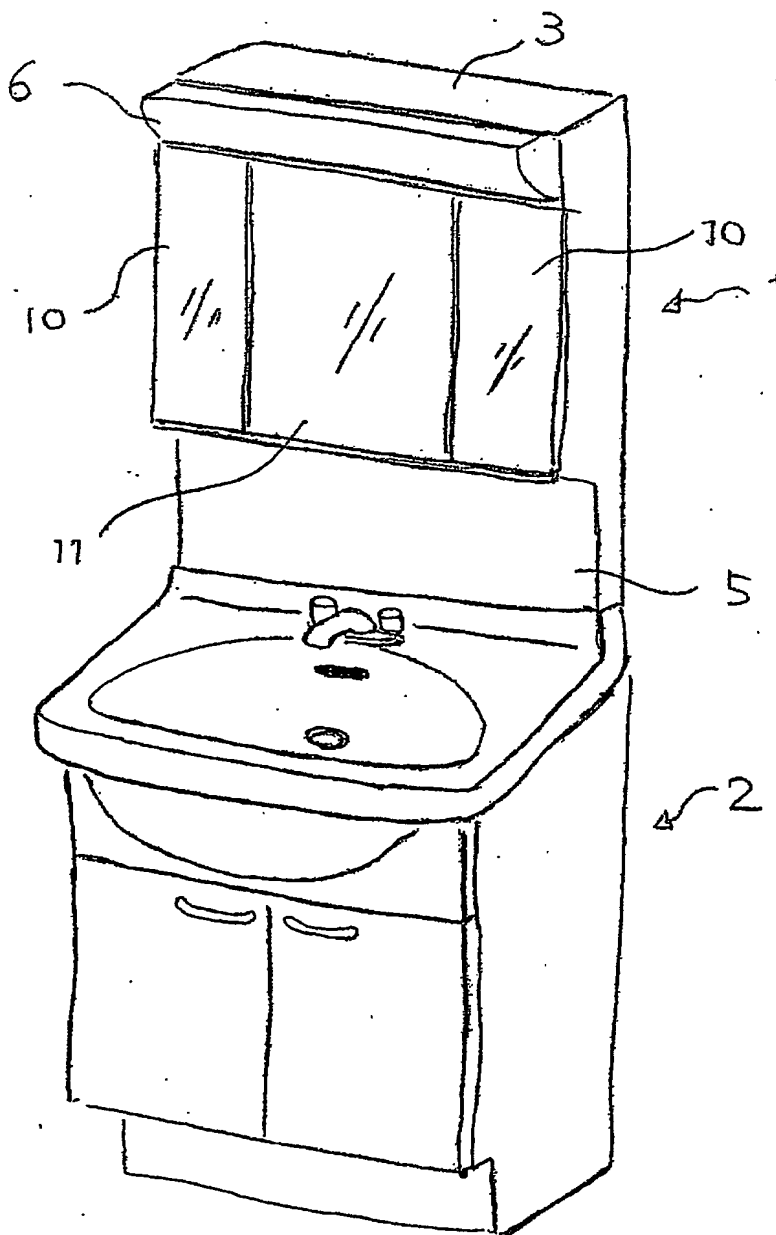
50 : 化粧縁

51 : マグネット

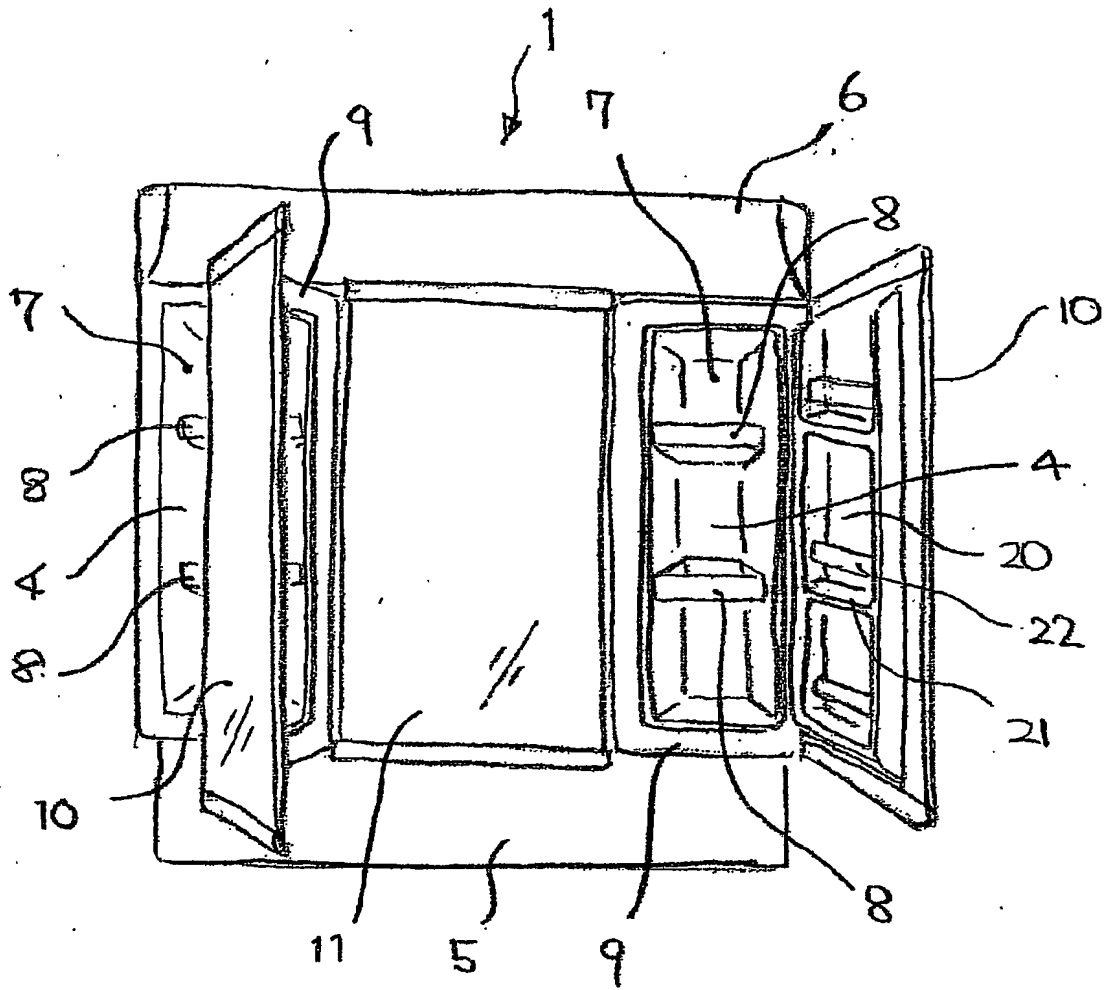
52 : マグネット受座

【書類名】 図面

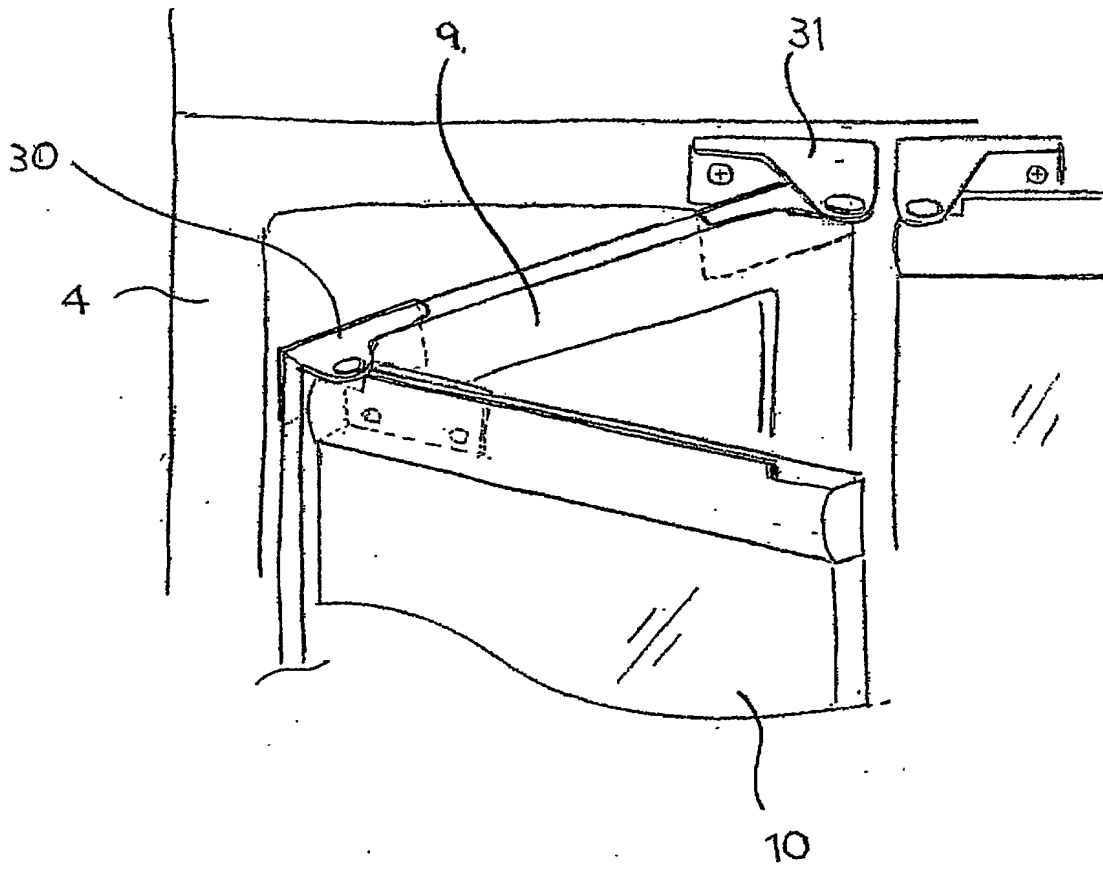
【図1】



【図2】

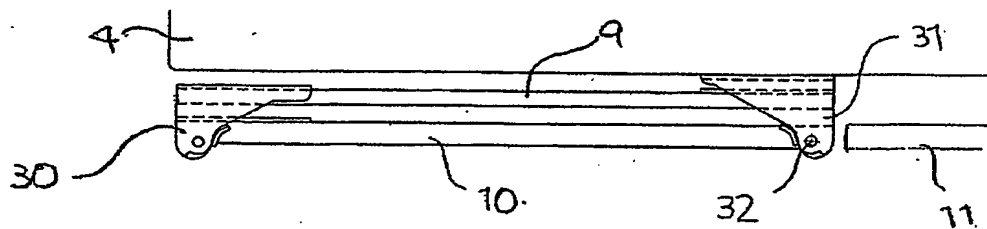


【図3】

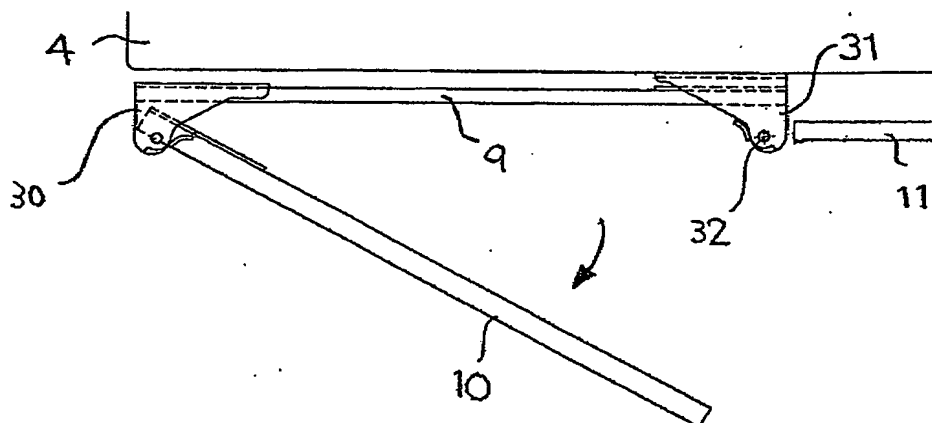


【図4】

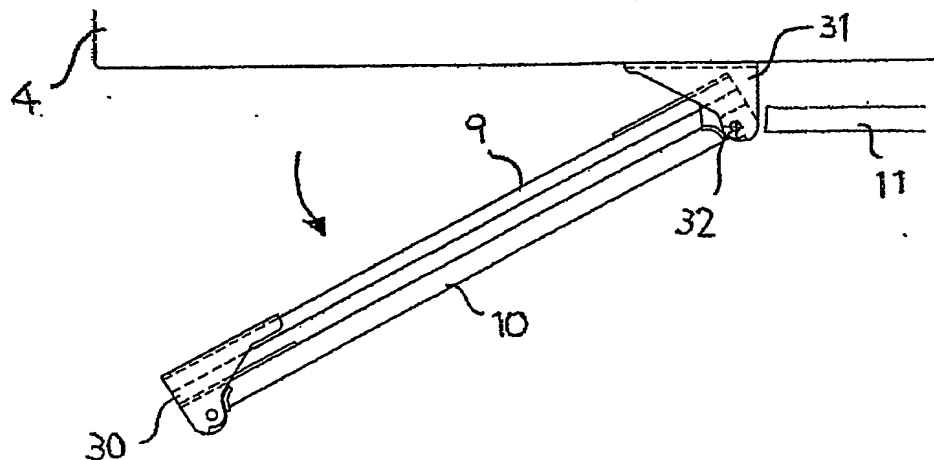
(a)



(b)

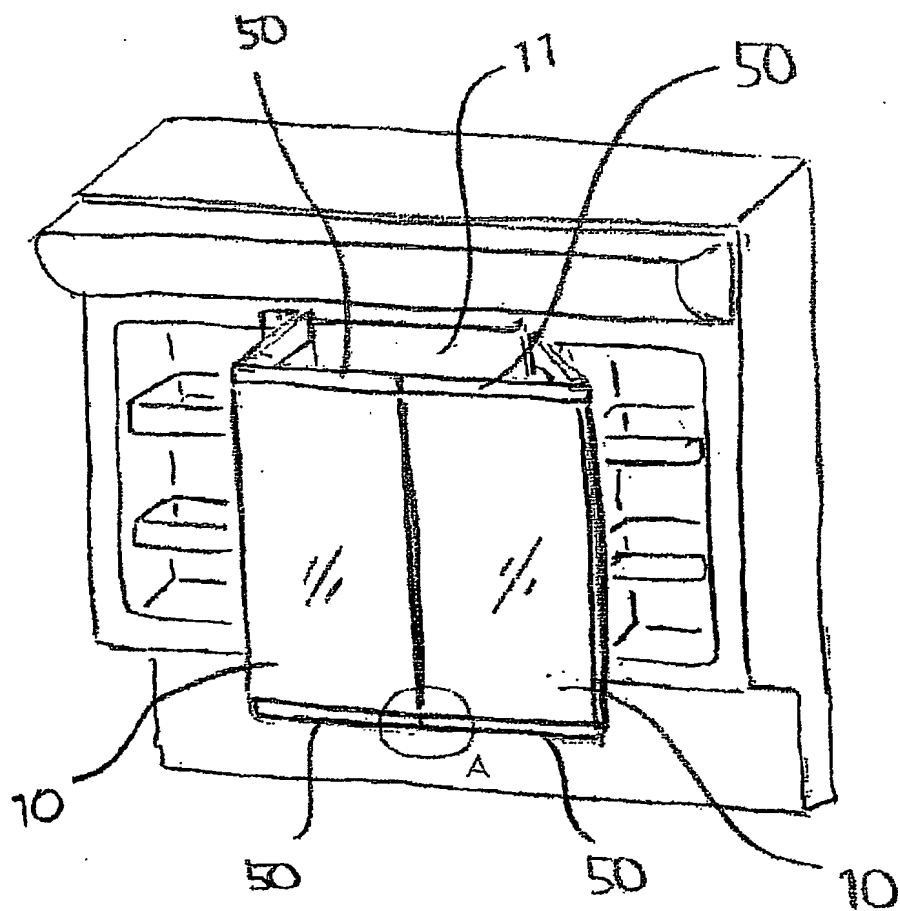


(c)

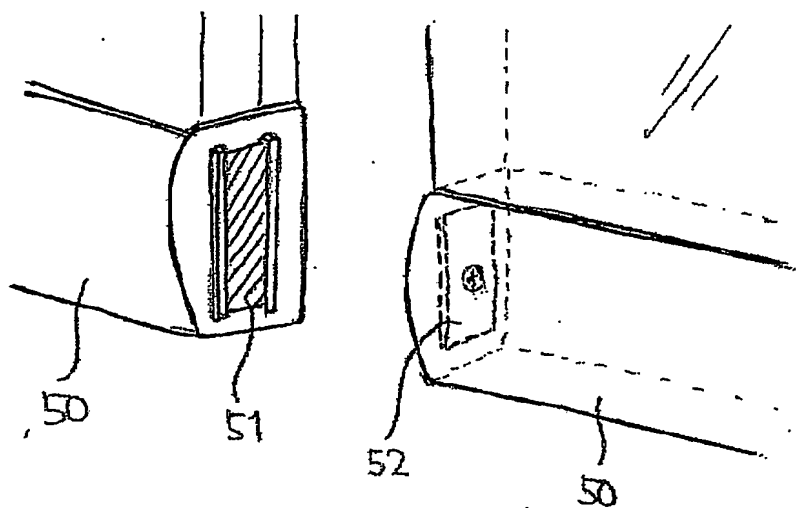


【図 5】

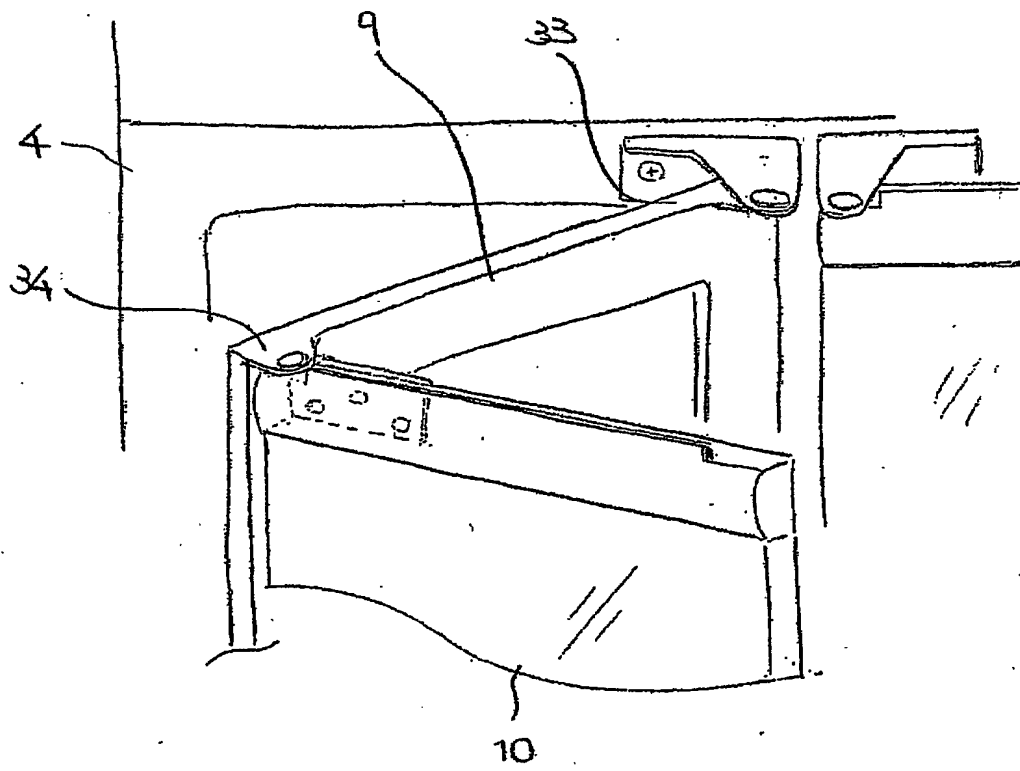
(a)



(b)



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

本発明は、上記の問題点を解決するために、左右の袖鏡を前方へ開いた状態で袖鏡が化粧鏡ユニットの前方中央部に位置するように構成し、洗面化粧台の中央部で鏡を広く使用することができる化粧鏡ユニットを提供することを目的とする。

【解決手段】

主鏡と該主鏡の両側に配設され、フレームと、丁番とによって左右どちら側からも開閉可能となるように取付けられた左右の袖鏡とを備えた化粧鏡ユニットにおいて、左右の袖鏡を開いた状態で各袖鏡がそれぞれ化粧鏡ユニットの前方中央部に位置するように構成したことを特徴とする。

【選択図】 図 2

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2002-084206
受付番号	50200417639
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0092
作成日	平成14年 7月26日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】	申請人
【識別番号】	000010087
【住所又は居所】	福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号
【氏名又は名称】	東陶機器株式会社
【特許出願人】	
【識別番号】	000205476
【住所又は居所】	大阪府大阪市淀川区三津屋北1丁目4番10号
【氏名又は名称】	大阪金具株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000010087]

1. 変更年月日	1990年 8月27日
[変更理由]	新規登録
住 所	福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号
氏 名	東陶機器株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000205476]

1. 変更年月日	1992年12月 4日
[変更理由]	住所変更
住 所	大阪府大阪市淀川区三津屋北1丁目4番10号
氏 名	大阪金具株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.